

山陰 鳥取より一日一粒からの幸せを提供 (コーワ建設有限会社)

<法人の概要>

所在地：鳥取県境港市

設 立：平成元年

資本金：2,000 万円

売上高：3 億 3,765 万円（平成 29 年）

（うち農業：2,238 万円、うち農業関連事業：399 万円）

役 員：3 名（うち農作業従事 1 名）

従業員数：13 名、うち農業従事者 3 名

経営面積：5.7ha 営農作物：白ネギ、にんにく

農業開始時期：平成 21 年



一面のにんにく畑と阿部会長



発酵した自慢の黒にんにく

<農業参入に至った経緯・動機>

本業である土木建設業は、春先からお盆までの期間は比較的従業員の手が空くことや平成 21 年当時は公共事業が減少傾向にあったことから、従業員の雇用対策として農業に参入した。また、会長個人は実家の農業の手伝いや家庭菜園を 10 年以上行っていたことから、抵抗なく農業という分野を選択できた。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

知人が所有する休耕畑や周辺の休耕畑の情報を会長自ら収集し、農業公社へ相談を持ちかけ借り受けて、農地を復旧し営農を開始した。

作付品目については、当初は健康志向の時代背景からにんにく栽培を考えていたが、周年出荷ができるものがないかと J A に相談したところ、鳥取県特産の白ネギを勧められたため白ネギの栽培から始めた。

＜営農開始から現在まで＞

当初考えていたにんにく栽培は、山陰の気候との兼ね合いや土地との適合性に不安があったものの、栽培したいとの思いがあったことから、独学で2年間の試験栽培を経て平成25年から本格栽培を開始した。更に、黒にんにく※の加工・販売にも取り組むこととなり、こだわりを持って大粒のにんにくのみを黒にんにくに加工している。

また、エコファーマーの認定を受けるとともに、鳥取県特別栽培農産物（慣行栽培の半分以上の農薬、化学合成窒素を半分以上）として栽培するなど、環境にも配慮した栽培に取り組んでいる。

現在は社内に「にんにくファーム事業部」を立ち上げて、白ネギやにんにくの栽培、黒にんにくの加工・販売に取り組んでいる。

※黒にんにくとは、収穫した生にんにくを約1ヶ月間乾燥させた後、温度・湿度を一定にした室（むろ）でさらに40日間熟成させたもの。一般的な白いにんにくと比べて糖度が高く、においも少なめで、やわらかい歯ごたえが特徴

＜今後の農業経営の展開方向＞

白ネギ、にんにくの栽培面積の規模拡大を図るとともに、発酵施設を活用した新商品の開発を進める。また、現在の黒にんにくの販路がJAのアンテナショップや観光施設などでの販売や口コミによる通信販売が主であるため、ホームページを新設してインターネット販売にも取り組む。

＜今後、農業に参入しようとしている法人へのアドバイス＞

農業参入時から参入後も、生産・加工・販売の専門分野の経験者からアドバイスを受けるなど、自社の弱点を見つめ直しながら経営に取り組むことが重要。



黒にんにくを手作業で袋詰め



こだわりの「黒にんにく」と「にんにくスライス」